

教科書の特徴

教科書名：EARTHRISE English Logic and Expression III Standard (104 数研 論Ⅲ708)

① 内容

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容（言語材料・言語使用の状況）などが扱われている。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文では英語が用いられている。また、表現活動を行いやすいように、素材となる文章や図表などを用意し、適宜活動の支援となるように配慮されている。
- C. 「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるようになっていく。
- D. 多様な観点・立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面・状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができる構成になっている。

② 構成・分量（単元の配列や特色・分量）：本資料末尾に CONTENTS を掲載

A. 全体の構成

1. 前見返しでは、Politeness を扱っている。生徒が活動を行う際に円滑なコミュニケーションを図れるよう、適宜確認し、活用できるようにしている。
2. 「Warm-up」では、英語の文法のまとめが掲載され、基本的な文法を確認することができるようにしている。
3. 本課は2 Part 構成となっている。Part 1 Lesson 1～10 は、1 課 2 ページ構成で、モデルとなる会話文やパラグラフを読んで、表現を習得しつつ、テーマに沿った内容について、英語で表現できる構成になっている。Part 2 Lesson 1～5 は、1 課 4 ページ構成で、各課で提示された素材をもとにパラグラフの構成を学習し、素材をもとにパラグラフライティングを行える構成になっている。
4. スピーチ・プレゼンテーションやディベート・ディスカッションの進め方についてわかりやすく解説したページを設けている。
5. 巻末には、本課 Part 1 と関連したトピックの素材を扱った Related Activities を設けている。
6. 各課のテーマに関連する語句は巻末 Useful Expressions にまとめており、表現活動をする際に役立てることができるようにしている。

B 各課の構成

1. Part 1

- ・CAN-DO では、各課で達成すべき目標を3領域（「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」）に分けて提示しており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組めるようにしている。
- ・各課のテーマに関連する会話文、Eメール、テキストメッセージ、ブログなどの素材を提示している。
- ・Listening Quiz は、授業の導入として各課の素材文に関する簡単なクイズで内容を確認することができるようにしている。

- ・ **Functional Expressions** では、会話文に出てくる文法・表現を取り上げて簡単に解説しており、そのあとの活動に役立つ内容となっている。
- ・ **Practice** では、イラストの内容を描写する活動に取り組み、**Functional Expressions** で学習した表現を確認できるようになっている。
- ・ **Activities** では各課のテーマに関連した内容について、「話す（やりとり）」と「書く」活動を行う。**Activities** ①ではリスニング問題でテーマの導入を行う。**Activities** ②では、①のテーマについて、「話す（やりとり）」活動を行う。**Activities** ③では、②の内容を整理して「書く」活動を行う。
- ・ **TRY** では、**Activities** ③で書いた内容を元に、「話す（発表）」活動を行えるようにしている。

2. Part 2

- ・ **CAN-DO** では、各課で達成すべき目標を3領域（「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」）に分けて提示しており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組めるようにしている。
- ・ 各課のテーマに関連する素材文を、ウェブサイト、表、写真などの資料と共に提示している。
- ・ **Review the passage** では、素材文や資料の内容を確認する活動を行う。
- ・ **Paragraph structure** では、素材文を使って基本的なパラグラフの構成を確認する。
- ・ **Expressions used to ...** では、課ごとに扱ったパラグラフの構成で使うことのできる表現を取り上げて簡単に解説しており、そのあとの活動に役立つ内容となっている。
- ・ **Activities Task 1** では、提示された素材（一部レッスンで複数素材を提示）の情報整理の「話す（やりとり）」活動と英作文に向けたメモの作成を行う。**Task 2** ではメモの内容をもとにしたパラグラフライティングの「書く」活動を行う。
- ・ **TRY** では、**Task 2** で書いた内容を元に、「話す（発表）」活動を行うことができるようにしている。

③ 表記・表現 及び 使用上の便宜

- 各課の問題・活動に関しては、指示文を英語で表記している。これにより英語での授業が進めやすくなるように工夫している。また、前見返しでは **Politeness** を扱っており、円滑なコミュニケーションを図れるよう参照できるようにしている。
- 各課の最初に **CAN-DO** を3領域（「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」）別に掲載しており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組める工夫を施している。
- 巻末には、**Expressions Plus**（表現のまとめ）、**Useful Expressions**（各課の活動で使える表現集）など、円滑な授業展開をサポートすることが可能な各種資料を充実させている。
- 学習指導要領の内容に関しても、各所において適切な扱いがなされている。
 - 話すこと [やり取り]
 - …Part 1 Activities ②, Part 2 Activities Task 1 など
 - 話すこと [発表]
 - …Part 1, 2 TRY など
 - 書くこと
 - …Part 1 Activities ③, Part 2 Activities Task 2 など
 - 上記の基礎となる「思考力・判断力・表現力等」
 - …基礎的な文法事項 / 様々な言語の使用場面・言語の働き / 言語活動
 - Part 1 Lesson 1～10, Part 2 Lesson 1～5 全般

【CONTENTS】

課	タイトル	学習事項
	Warm-up	重要表現の復習
Part 1 : Functional Expressions (機能表現)		
1	New Year's celebration 【Culture】	意見・希望・欲求を述べる
2	Working and studying online 【Life】	賛成・反対を述べる
3	Recreation 【Leisure】	勧誘する・招待する, 期待する
4	Open campus 【Education】	計画・意図を述べる
5	Places to buy lunch 【Meal】	提案・助言を行う
6	A helping hand 【Society】	程度・譲歩を述べる
7	Online shopping 【Shopping】	依頼・要請を行う
8	Sharing information 【Media】	許可を求める
9	Fixing dates 【Relationship】	謝罪する・謝罪に応じる
10	Work experience programs 【Career】	感謝・喜びを述べる
Part 2 : Paragraph Structure (パラグラフの展開パターン)		
1	Electronic devices / Home appliances 【Technology】	パラグラフの基礎
2	Travel advertisement 【Travel】	例示・列挙
3	Animal features 【Nature】	比較・対照
4	Environmental issues 【Environment】	原因・結果
5	History of Japanese emigration to Brazil 【History】	時間的順序
	Speech & Presentation	
	Discussion	
	Debate	
	Related Activities	